

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	1-2-3	5-1-2	事業名	子どもの映像制作体験事業			
担当	観光文化局文化市民文化課 渡邊 211-2261						
全体計画							
事業内容	将来本市の文化振興の担い手となる子ども達に、プロの指導の下、本格的な映画制作を一から体験させ、本市の新しい映像文化環境を創出する。また、撮影の舞台に、芸術の森等本市の魅力ある場所を活用することで、シティPRに寄与することを目指す。			<年度別の事業内容>			
				【平成20～22年度】 各年度とも同規模の事業内容を想定			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	/			映画制作のワークショップを行い、撮影は芸術の森にて行う。完成後、上映会をシアターキノで行う。 実施主体：NPO法人北海道コミュニティーシネマ・札幌 講師：中島洋(映像作家、シアターキノ代表)、早川渉(映画監督、札幌国際大学講師) 対象：市内中学生15人程度 期間：6月～11月 ワークショップ：6月から毎週1回のペースで15回程度 撮影：芸術の森で2日間 上映会：シアターキノ(11月) その他：ワークショップから撮影まで、札幌市立大学等の学生ボランティアによるサポートを受け、連携しながら行う。			
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
参加者数(累計)		-	-	15人	15人	20人	50人
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 中学生の参加によって成り立つ、市民参加型の事業である。 また、学生ボランティアと協力、連携しながら事業を進める。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力]企画から実施まで、映像関係のNPO法人が主体となって行うため、専門家のノウハウを子どもたちに提供できる。 [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり 市内の中学校にチラシを配布し広く参加を呼びかけており、市民が参加しやすい環境を創出している。</p>							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	1-2-3	5-1-2		事業名	子どもの映像制作体験事業		
評価(成果)				課題			
				事業を安定的に実施するための協賛金等の獲得。			
今後の事業の予定・方向							
同規模で実施していく。映画のロケ地については、本市の魅力ある場所を活用し、将来的には映像、映画によるシティPRを目指す。							
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	0	1,700	1,650	1,650	5,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	1,700	1,650	1,650	5,000
予算	事業費	0	1,000	-	-	1,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	0			0
		市債	0	0			0
		その他	0	0			0
		一般財源	0	1,000			1,000
実績	事業費	0	-	-	-	0	
	財源内訳	国・道支出金	0				0
		市債	0				0
		その他	0				0
		一般財源	0				0
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				20.0%	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)							
(全体)							
[19年度]							
[20年度] 経費を精査し、計画時よりも予算規模を縮小して実施することとした。							